

1. 件名：泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年4月25日(火) 14時00分～15時05分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官※、佐口主任安全審査官、谷主任安全
審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官
北海道電力株式会社：松村執行役員 他10名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・泊発電所3号炉 基準津波に関する検討状況
(令和5年3月24日第1128回審査会合指摘事項)

時間	自動文字起こし結果
00:00:02	規制庁谷です。本日の面談を始めます。今日の面談としては泊発電所3号炉の基準津波に関する検討状況、
00:00:12	審査、3月24日に会合をやってまして、それについての検討状況ということで、説明を
00:00:22	いただきます。まず、資料のご説明を簡単をお願いします。
00:00:27	はい。北海道電力の松村です。
00:00:30	24日の会合を踏まえた、今の基準津波の検討状況についてご報告させていただきます。
00:00:38	説明青木から説明行分程度を予定しておりますよろしくお願いたします。
00:00:49	北海道電力の青木から説明させていただきます。
00:00:53	当資料を早速めくっていただいて、2ページに指摘事項を記載してございます。
00:00:59	令和5年3月24日の会合における指摘事項、①と②大きくありまして、今回は朱書きで書いておりますところについて検討方針説明させていただきます。
00:01:09	①ですが、地震による津波評価のうち水位下降側の最大ケースが組み合わせ後の水位上昇側の最大ケースになったところを踏まえ、組み合わせ後に水位に影響の大きい波源が選定できているのかと。
00:01:23	いうところについて分析結果を踏まえて根拠を明確した上に説明することのその具体例というところで、水位上昇側については三つの矢羽根で示されております。
00:01:34	このうち、一つ目の矢羽根の陸上地すべり川白の一般を対象とした分析評価を踏まえ、組み合わせ時間範囲において、第1%または
00:01:44	第2版のピークが生じる波源を特定して示すこと等今回このうち、第1は、は整理中でありますので第2はに関する検討状況について説明させていただきます。
00:01:56	また二つ目の矢羽根で、特定した波源を特定した上でその上で、組み合わせ時間範囲における組み合わせ後の水位が高くなる波源の組み合わせについて、
00:02:06	波源のパラメータを変更した場合は経営に与える影響を考慮して検討すること。
00:02:11	というところについて状況を説明させていただきます。
00:02:15	こちら3ページに検討方針に書いておまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:19	地震津波の組み合わせ時間範囲において、第一波または第2版のピークが生じる波源を特定するにあたっては、地震津波の水位時刻歴は系の移送が重要であると考えております。
00:02:31	既往の解析分析考察結果等を踏まえますと、波源位置と発電所の距離に応じて津波が泊発電所へ到達する時間、位相に影響を与えることが判明しております。
00:02:44	ここでは現位置については、三つの矢羽根で示しておりますパラメータで決定するものでありまして、
00:02:51	これらのパラメータの変動を考慮することで磯が変動して、ピーク時間範囲に入る、第一波または第2版のピークが生じる範囲が特定できるものと考えております。
00:03:02	詳細については後段のページ6ページから8ページで説明させていただきます。
00:03:07	これらの断層パラメータの変動による位相のずれの程度っていうものが、既往の結果より見えてきておりますので、これ地震津波のピークの位相がずれて、組み合わせ時間範囲においてピークが生じる波源。
00:03:20	っていうものが推定できると考えております。
00:03:23	これで推定した波源を対象に追加解析を行いまして、この時間範囲でピークが発生する波源というものを検証することで、地震津波のうち第1版または第2版のピークは組み合わせ時間範囲で入る波源というものを特定すると。
00:03:38	いうところを考えております。
00:03:41	続いて4ページに検討方針の詳細になってまして、
00:03:45	前回の会合からの静変更点についてまとめたものになります。
00:03:50	こちら下段のは計のところの説明させていただきます。
00:03:55	後は計の右上のところに赤枠で書いておりまして、前回の説明で須藤地震津波の最大ケース、ケース1から20のうち、第2はピークが大きくなるもの。
00:04:06	として6のD南20という波源を選定しました。こちら水位の観点から選んだものになります。
00:04:12	そこから波源1移送の変動を考慮した追加解析を実施して、
00:04:17	その時間範囲に、
00:04:19	この第2版のピークは発生しなかった、ピークが重なる重ならなかったという結果が、前回の会合で説明したのものになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:28	今回説明するものについては青枠で書いておりまして、概略パラメータスタディ移送の観点とありまして、
00:04:36	当地震津波の最大ケース以外も対象としまして、この組み合わせ時間範囲において第2版のピークが発生する波源を特定することを考えております。
00:04:45	こちらは例示として、7-Dという波源について示しておりますが、これ以外の波源も対象に整理することを考えております。
00:04:54	特定した波源を対象に詳細パラメータスタディとして水位の観点からどのような影響があるかっていうところを、
00:05:02	検討することを考えております。
00:05:05	また5ページに概略パラメータスタディと詳細パラメータスタディの考え方を書いております。
00:05:12	こちらの表のうち大きく左側については、前回の会合で説明したものになっておりまして、そちらの結果を見ますと、6-D南20の断層パラメータの水位上昇側に効くものを、
00:05:25	について、移送の観点から変動させたというところでやっております。
00:05:29	今回説明するものについては右半分となっております、概略パラメータスタディとしてまず断層パターンと、波源の位置、矩形モデル区野地モデルと東西方向位置、
00:05:40	に関する検討を実施いたします。その後詳細パラメータスタディとして、土肥層に効かないパラメーターというところで、アスペリティ位置と断層面上縁深さの変動を考慮するものを考えております。
00:05:54	詳細は次のページ以降で説明します。
00:05:57	まず、6ページをお願いいたします。
00:06:02	こちらは概略パラメータスタディの位相の観点から影響の大きいパラメーターというところで、東西方向位置と断層パターンについて整理したのものになります。
00:06:12	まず一層の影響という観点で整理しておりまして、東西方向位置と発電所の距離に応じて一層に影響を与えるというところで、基本的に東西方向位置のパラメーター外挿に最も影響を与える断層パラメーター、
00:06:26	と考えております。
00:06:28	また断層パターン5から8の違いによって東西方向の移動量は、こちらの下表に示しております通り異なるというところで、断層パターンに

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ついても東西方向位置に次いで、位相に影響を与える断層パラメーターと考えております。
00:06:43	具体的な設定としましては、土俵で書いております水色の日本海島縁部の範囲の東端を網羅できる位置まで、それぞれの断層パターンを東に移動させていると。
00:06:55	いうところで東の移動量を設定しておりますしてその設定量が、断層パターン5から8で異なっているというところになります。
00:07:04	具体的な断層パターン5については東へ30キロ、断層パターン6は東5キロ、断層パターン7は東へ15キロ、断層パターン8は東へ15キロ。
00:07:15	動かすことで、この日本海東部の範囲を、の東端を網羅できると言う根拠を持って設定してるものになります。
00:07:23	そういった観点から断層パターンの違いによって東への移動量の移動できる量が異なるというところで、断層パターン含めて東への移動を検討するということを考えております。
00:07:35	続いて7ページをお願いいたします。
00:07:39	先に説明した通り断層パターン5から8の違いによって東への移動量が異なってくるということを踏まえて踏まえた上で、断層パターン5から8を東に移動させた場合に、
00:07:50	地震に伴う津波の第2はのピークが、頭の組み合わせ時間範囲に入るかどうかというものを検討しております。
00:07:58	それが断層パターン5から8それぞれ検討しておりますして、共通する検討結果というところで、
00:08:06	例えば左上の断層パターン5-1と5の例で挙げますと、
00:08:11	グラフ上に断層パターン1と5の覇権をそれぞれ書いておりまして、第2はのピークが発生する時刻に約150、150秒の差が発生しております。
00:08:22	こちら断層パターン1と5については東西方向で25キロ離れておりまして、
00:08:27	25キロ離れる江藤当然移動させることによって位相が約150秒ずれというところが確認できております。
00:08:37	こちら5キロ単位で換算しますと約30秒程度、位相がずれてくるというところを踏まえた上で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:08:44	と断層パターン5を108時東出30キロずらすと、第2版のピークが発生する位置というものを推定しまして、そちらがピンク色で示しております。組み合わせ時間範囲に入るかどうか。
00:08:57	というところを検討しております。その結果、断層パターン5と7についてはPEEKが入りそうだという推定の結果になりますので、
00:09:06	断層パターン5と7を東に移動させたケースについては、追加解析をして、状況を検証するというところを考えております。
00:09:14	また右上の断層パターン6については、東への移動量が5キロと小さいため、
00:09:19	この
00:09:20	東へ移動させた場合にピークは入らないということが推定されますのでこちらは追加の検討。
00:09:26	の対象とは考えておりません。また右下断層パターン8については、第2版のピーク自体は、
00:09:33	このピンクの時間範囲に入らないと考えているんですが、第2版に起因する上昇側のは形が、この組み合わせ時間範囲に入る可能性があるというところでこちらを対象、
00:09:45	にすることを考えております。
00:09:47	結論としては断層パターン5、七、八について東へ移動させたケースについて解析を行いまして重なるかどうかというものを確認することを考えております。
00:09:58	続いて8ページをお願いいたします。
00:10:04	こちら、矩形モデル区野地モデルの違いによる影響というところで、
00:10:09	こちらは矩形とくの時モデルの違いによって断層の南北方向の中央というところが東西に移動しますので、こちらは津波が発電所に到達する時刻移送に影響を与えるというところは確認しております。
00:10:23	こちら前回の会合で示した6-D南20の結果から分析した結果というところでまとめております。
00:10:30	こういったところと、あと、右上のところに書いているんですが、矩形モデルと区野地モデル。
00:10:36	の違いによって、日本海透明の範囲を、もうの東端を網羅できる位置というものが、移動量が異なるというところで、
00:10:45	具体的には矩形だと東動きのずらすと水色の日本海東部の範囲を網羅できる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:10:51	黒字だと東に 10 キロずらすことで、水色の、
00:10:55	日本海等の範囲を網羅できるっていう、移動量が異なるっていうところを踏まえて、この矩形くの字の違いについても東西方向に直井道路の影響があるというところと、
00:11:06	また断層パターン 5 と 8 については、黒字モデルの検討を実施していないというところで、この黒字にしたらどのような影響があるかっていうところの影響が考察できないというところを踏まえまして、
00:11:18	9 の時と矩形モデルの両方を検討する、追加解析で確認することを考えております。
00:11:25	続いて 9 ページをお願いいたします。
00:11:30	ここからは詳細パラメータスタディの推移の観点から聞くパラメータとして整理したものになっております。
00:11:36	まず、アスペリティ領域を滑り域の初期水位というものが大きくなるため、そのアスペリティ位置と発電所の距離に応じて、地震津波の各ピークの水位発生時刻に以下の影響を与えることを確認しております。
00:11:51	基本的に、アスペリティの位置が近い場合、泊発電所に正対する位置である D 付近にした場合ですと、ピークの水位が高く、またピークの発生時刻が早いという特徴があります。
00:12:04	それと比べまして距離が遠い場合、例えば、一番北側にアスペリティを設置した AB 等の場合を例示しておりますが、そうした場合、ピークの水位が小さくなってまたピークの発生時刻が遅くなるという特徴があります。
00:12:19	こちらの状況ございますが東西方向 1 の方が明らかに影響が大きいというところ、具体的にはアスペリティ位置の変動と比べて、位相が変化するのに伴って水位の低下が発生しないと。
00:12:33	いうところが東西方向位置の、
00:12:35	影響としてありますので、まず移送の観点からはアスペリティ位置の変動は考慮しないというところを考えております。
00:12:43	また移送の観点の検討は東西方向位置を基本にするというところを考えております。
00:12:48	この考え方については右下の、
00:12:51	備考のところで書いておりまして、まず概略パラメータスタディでは、アスペリティ位置の距離が近い場合を基本として東西方向位置の変動を考慮しまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:02	このピンク色のずらした範囲に入る波源。
00:13:05	ていものを特定いたします。その上でアスペリティ位置の距離が遠い場合の変動を考慮していく等、等せっかく、東西方向位置でずらして特定したピークというものが、
00:13:17	このピンクの範囲からずらそう公園に離れる方向に変化することで、
00:13:22	変化しました水が小さくなっていくところから非保守的な検討になると考えられるので、その観点の検討は東西方向位置を基本にするというところを考えております。
00:13:34	また具体的な変動幅としては、D付近で水位が大きくなるところが既往の結果から見えておりますので、D付近というところで、DからEF-10キロメートル刻み、
00:13:45	の追加解析を実施することを考えております。
00:13:49	最後のパラメータとして10ページ、お願いいたします。
00:13:56	50ページ断層面上縁深さについて分析しております、こちらは現位置と発電所の距離というものが、断層面上縁深さの変動によって変わらないというところで、1層に与える影響も小さいというところを、
00:14:09	既往の結果からも変え、分析しているところになります。
00:14:13	また追加解析で実施するケースにつきましては、0から5キロの上限値、中間値下限値の評価として、09メートル-3キロメートル-5キロメートル、
00:14:24	刻みの検討を予定しております。
00:14:28	最後11ページ、これまで説明した内容のまとめになりまして、
00:14:32	まず概略パラメータスタディの実施ケースを
00:14:36	江川にまとめております。
00:14:38	と断層パターンについては、小5と7と8を東に移動させた三通り。
00:14:44	あと矩形モデル区野地モデルの違いとして二通り。
00:14:47	その掛け算であります6ケース、文字概略パラメータスタディで検討することを考えております。
00:14:54	そこからこのずらした範囲において第2版のピークが発生した波源を対象に詳細パラメータスタディとして、アスペリティ位置と断層面上縁深さの変動を考慮してその影響を確認することを予定しております。
00:15:08	そこから、このずらした範囲において第2版のピークが発生した波源のうち、第2版のピークが最大になる波源を対象に、組み合わせの同一波動場の検討をして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:15:19	敷地に対して大きな影響を及ぼす波源というものに選定することを考えております。
00:15:25	説明については以上です。
00:15:32	規制庁谷です説明ありがとうございました。
00:15:36	今日のもう、
00:15:38	説明っていうのは説明というか検討状況として、
00:15:45	こちらに伝えたいことというのは、
00:15:48	介護でいろいろ言った中の、
00:15:51	まずは上昇側も加古川もコメントしていますが、その中の上昇側に限った話で、上昇側についても、第1、第2はありますよねっていう話と、
00:16:05	あともう1点は、
00:16:08	川白の2羽とかは、これは考えなくていいんですかとかいう話にはい以降ですね、そういったこともコメントしているんですけど。
00:16:18	その中で
00:16:21	2はに関する検討をこうしますっていう、非常に
00:16:26	検討状況と言いつつ、
00:16:28	そのすごく絞った範囲の説明だけを今日していただいているっていうことでそれでいいんですよ。
00:16:39	北海道電力奥寺です。資料内容としてはその通りでございます。
00:17:07	規制庁の方の音声か、
00:17:11	規制庁の方の合わせがちょっと切れましたが大丈夫ですか、こちらの方へ聞こえています。
00:17:17	本当に契約して、
00:17:20	取り込みます。
00:17:35	北海道電力奥寺でございます。資料としては、今回は1%を事例として、状況を説明しております。
00:17:44	ただ、日本の件ですけれども、この一般の物の考え方っていうところと、
00:17:52	基本的な考え方は一緒のところですので、この辺りの状況説明が全体として重要なとは考えております。以上です。
00:18:02	においてあります。
00:18:04	それでこれだけ離して検討状況、
00:18:09	を説明して、我々としてはこれだけ聞いても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:18:14	検討状況がどうなってるのかさっぱりわからないと。
00:18:17	そういうようなことがまずありますんで、もし口頭でも他の、島、これはもう、どうやってやりますっていう話は今聞けないと思うんですけど。
00:18:30	その他の進捗状況というか、この会合で、
00:18:35	コメントしたこと、これらについて、順調に進めて特に何ていうんですかね。
00:18:42	疑義なく進んでいるっていうような状況なんですか御社は5月の半ばぐらいにはもうヒアリング資料出しますって言うてる。
00:18:52	はずなんですけどもその他はこうどんどん整理できているということではないんですか。
00:19:05	北海道電力奥寺です。整理の方は今、並行で進めているところで、
00:19:12	5月の半ば%のヒアリングというものを、
00:19:18	今、我々としては試行しているところですけども、その辺りには、この全体にどういう方針でやっていくかというような考え方、その辺りは取りまとめられるのではないかとこのところ、
00:19:32	進めてございます以上です。
00:19:40	入ったんです。
00:19:41	今までは疑義なく進んでるということで、
00:19:46	その通りまず進めてくださいぐらいしか言えないんですけども、
00:19:51	迷ってないってことですかね。それ、でも、何か我々としてはこういった検討状況というのを説明していただけるんだったら、
00:20:02	なんかですね、やっぱりこれだけじゃ物足りないなっていうのを正直思っ
00:20:06	て特に構台第2版よりも第一波の方が複雑ですよねどうどう言ったのが重なるのか重ならないのかっていう議論をするときに、
00:20:15	そんな中で第一波これんだい、第2版の話だけを聞いても、
00:20:23	これを持ってきて我々のイメージが当行合ってるのかどうなのかっていうのもですねなかなかこう言いづらいなという点がありますんで、
00:20:34	状況わかりましたということで、
00:20:38	ちょっと中身を確認したいんですけども。
00:20:42	まずですね。
00:20:44	説明がかなりこう複雑な説明をされてて、
00:20:50	言ったら文字が多くなって、何か消せ結論を導くためにこう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:20:56	いろいろな細かな、
00:21:01	検討んけん、細かな好条件みたいなものも整理されてるんでももちろんこの整理っていうのは大事なんだと思うんですけども、
00:21:09	結局何を言いたいのかっていうのがすごくわかりにくくて、
00:21:13	じゃあですね北海道電力として今、
00:21:18	重なる派遣はこの6ページ7ページでどうどれ、どれが重なるって言ってるんですか。
00:21:37	北海道電力の青木です。今回提出しました7ページのところが一番わかりやすい例かなと思っておりまして、
00:21:45	このうち左上の断層パターン5については、現状今断層パターン5から東へ30キロずらせ180秒ずれて、第2版のピークが入ってくると推定しております。
00:21:58	こちらについては追加解析をして、重なるっていうふうな結果になるっていうところを考えるとところす。そういった観点からいうと断層パターン5については重なるを、
00:22:09	ものになるだろうというところを考えているところす。また断層パターン7も同じく、右下断層パターン8についても、そうなることを考えております。一方右上の断層パターン6については、
00:22:21	とも重なる可能性はないというところから追加解析を実施することを考えておりません。
00:22:27	ここまでまとめますと、こちら系モデルで分析したものでして断層パターン578について重なるんではないかというところを考えているところす。以上です。
00:22:39	はい、井谷です。だからねそういうのをね何か最初にね、パターンとしてはこれだけあるんですよ。そのうちこれが重なるんですよっていうのをこう、もっとこうストレートに説明して欲しくて、
00:22:52	これパターンの話が、
00:22:55	7ページにあるんで、8ページは、区の時の話。
00:23:00	矩形と黒字の違いの話がある。
00:23:11	この久野Gは、
00:23:15	追加解析をするっていうのは、この7ページで選んだものに対して、
00:23:21	追加解析をするっていう、そういう順番なんですかね。
00:23:29	当北海道電力青木です。順番としては、組み合わせ的に検討するところを考えておりますが実質的には、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:23:37	7 ページで選定、推定されたものについて、筧区野地両方を検討するところになります。大谷さんの考えているところと一緒に思います。以上です。
00:23:51	じゃあ全部基本的には矩形でまず、断層パターン 1 から 8 っていうのと、
00:23:59	どこからどこまで寄せられるっていうのを考えてそれ、それは矩形の六、七ページの 2 個形の中で、考えた後に、
00:24:08	そ、そこから予想できるってことなんですかねこの久野 G についても、50 日遅れ、二、三十秒ぐらい遅れるんですか。
00:24:19	30 秒くれる。
00:24:23	その子それ場所によっても例外がないので、
00:24:27	区の時も、
00:24:28	矩形で選んだもの。
00:24:33	この黒字を検討したら漏れはないだろうって考えてるってことなんですか。
00:24:39	北海道電力の青木です。
00:24:42	筧については 6 ページ 7 ページで説明した通りになっておりまして、久野 G については、今ある分析結果からいえるところというところで今回まとめたものになっておりまして、
00:24:56	断層パターン 6 のものを、こちら表中に書いておりますそちらの結果を見ると、位相のずれの程度っていうのはおおよそ見えてくるようになっておりまして、ただ一方、
00:25:06	前のページで、追加検討すると説明した断層パターン 5 と 8 については実際に黒字にした結果がないというところで、明確な答えが現段階で持ち合わせていないというところで、
00:25:19	そういった観点を踏まえて矩形黒字両方検討する。その検討結果を踏まえて、重なるかどうかを確認するところを考えております。以上です。
00:25:29	井谷ですはい。丁寧に説明ありがとうございました。これはだから傾向だけじゃわからなくて、
00:25:36	この時にしたらどのタイプでもこうなんか 30 日遅れるとか、そういうことも今言えないから、
00:25:43	結局追加解析を全部でやってみないとわかんないっていうことを言うてるってことですかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:25:50	それとも、それとも、
00:25:53	矩形を矩形をまず、
00:25:58	ごめんなさいね。
00:25:59	7 ページで矩形で例えばチャンピオンになったものだけを、
00:26:04	くの字を、
00:26:07	とかそんな話なんですか。
00:26:11	と北海道電力の青木です。
00:26:14	藤会頭と社全社のものを考えておまして、基本的には各慶徳の G パラで検討することを考えております。
00:26:23	そういった伊藤というところについては、このピークからずらした範囲に入る波源をまず特定するっていうところが一番重要なと考えておまして、そういった中で、矩形だと、入る、黒字だと入らないとか、
00:26:37	或いは矩形だと入るクロージャーと入るとかそういったところの整理が必要なかなと考えておまして、
00:26:43	両方のケース概略パラメータスタディというところで検討することを考えております。回答としては以上です。
00:26:55	回答 2 ですこれは、ちなみにあれですよこれまで、これまでのずっと検討してきた中でやったことがないケースが、
00:27:05	幾つもあるってことを、
00:27:07	何ですかね、追加検討って書いてること。
00:27:11	当北海道電力の青木ですとちょっと具体的に説明しますと 11 ページが多分一番わかりやすいんですけども、
00:27:21	今回概略パラメータスタディという観点で実施するケースと右の、
00:27:26	六つの概略パラメータスタディ検討形成というところで、六つのケース書いておまして、このうち、断層パターンなのでいい。
00:27:37	と書いてるものについては矩形黒字で結果持ち合わせてるものになります。
00:27:42	一方断層パターン 5 と 8 についてはマークの字でやった事例がないいうところとまた、一番左の矩形モデルの東へ移動させたケースっていうところも、やってないと。
00:27:54	いうところになりますので、追加のケースとしましてはこの断層パターン 5 と 8 というところが主になると考えております。以上です。
00:28:07	谷です。
00:28:09	そっかそっかこれで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:28:11	元 8-9-1 を追加しなければ、
00:28:16	いけないってことですね。
00:28:31	それで、ここまではわかりましたとそれほどそれほどたくさんの検討するっていうわけじゃないよとここまでは、
00:28:42	9 ページが、
00:28:49	アスペリティを動かしますと、これ動かしたらこう時間はずれるんだけど、
00:28:58	基本的には低くなる方向になるよと。
00:29:03	というのが確認できた上で、
00:29:08	確認できているのかできていないのかというところを、
00:29:13	追加解析を実施するって言うてるんですけど。
00:29:22	これはあれなんですかこれ今の結果からでは、は、基本的に話したら
00:29:29	す。
00:29:30	振幅が小さくなるっていう説明は我々は何、それはわかるんですけども、今の結果からだけでは、
00:29:40	言えないってことなんですかねこれは小さくなるからやらなくていいっていう話はこれできないってことなんですか。
00:29:49	北海道電力の青木です。
00:29:51	今、実施しようと考えているケースについては、デイリーから F というところで右の図で書いてるところでいうと、赤色のハッチングしております近い位置、
00:30:02	に関して詳細な検討というところを考えております。
00:30:06	中央のは経営のところを見ていきますと、
00:30:10	衛藤赤線で示しております D 南 20 というものが一番大きくてその前後の、EF っていうものは、水位が高いケースなのでこの中のところで、こういった影響があるかっていうところを確認することを考えております。
00:30:26	一方それでいいから EF 以外のケースについては、考えとしては、アスペリティ位置が離れると、振幅も小さくなってピーク時期が遅くなる。
00:30:36	ていうところでこの特徴についてはどの波源どの断層パターンについても共通していられる特徴だろうというところは考えておりまして、
00:30:45	そういった観点から、この D から IF については、追加解析しますわそれ以外離れたケースっていうところは、検討することは考えていないというところになります。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:30:59	はい、井谷です。それはあれですよ。8ページまでが概略でやっパラスタでやっててだから概略パラスタで、
00:31:08	大きいのが選ばれたものに対して9ページでやって、9ページのアスペリティ位置をこう細かく、
00:31:15	細かく10、10キロピッチ。
00:31:18	までのことをやっていくということですね。
00:31:38	でもこれって、
00:31:42	これ何となく言ってることはわかるんですけども、
00:31:46	移送の観点でも変わるんだけど、
00:31:50	位相もずれるんですよアスペリティを変えたら、
00:31:53	けども、
00:31:56	そこは、
00:31:59	どう切り分けるんですかそのパターン1等の切り分け、切り分けっていうとうまく伝わるかな。
00:32:07	位相がやっぱりずれるんですけど、その
00:32:12	今まで、
00:32:14	例えば入ってこなかった。
00:32:16	普通のパターンでやったら、重ならないやつも、アスペリティ位置をずらすと重なり始めたりするわけですよ。
00:32:25	その関係をうまくこう説明してくれないと、何かぼんやりはこう考えてることがわかるんだけど、
00:32:34	何かしっかりと説明してもらわないと。
00:32:38	なんでじゃあ、アスペリティ位置ずれるのに検討しなくていいんですかっていう話になるんだと思うんですけども、それ今なんかどう考えてんですか。
00:32:47	北海道電力の青木です。基本的には、東西方向1とアスペリティ1、結構見てくるとどちらも位相が変わってくるというのが事実としてございます。
00:32:59	ただ、位相が変わった上でその水位がどう変わっていくかというところまで見ていくと、例えば7ページとかを見ていただきますと、東西25キロ、
00:33:11	ずらしたもののピークの位置の推移を見ていくと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:33:14	あまり差はないのかなっていうふうに思っております。こちらのイメージとしては単純には系を左右にシフトした形に東西方向にずらすとなってくるという状況。
00:33:26	一方アスペリティー井については、どう考え方は生体するとピークの水位大きくなる、離れるとピークのスイッチ作なるといところの理屈はわかっておりまして、
00:33:36	そういったところもあっていっそうピークの発生時刻遅くなるんですが同時に水位も下がってくるっていう特徴がございます。
00:33:44	この二つのパラメーター考えた場合に、移送に効くのはどちらだといところで言うと、基本的には東西方向1の方が影響が大きいといところを考慮しております。
00:33:55	根井谷井さんの間、
00:33:59	懸念している事項といところ、まず、東西方向位置ずらした段階で、ピークが入る波源といものを特定いたします。その特定したものに對して、
00:34:10	アスペリティー位置が離れた場合とかを想定していくと、入ったものがかえって離れる方向にいってしまうといところがありますので、まずは東西方向位置で波源を特定すれば、
00:34:23	その観点でもピックが一番厳しい波源といものは、Asperityと東西方向位置の観点から選んでいると考えております。
00:34:31	もう1点、例えば東西方向位置で入らなかったものに対して、じゃあ逆にアスペリティーをずらせばPEEK入るんじゃないかといところもあり得るんですが、
00:34:42	そういったところについてこの1%の検討のところでは、基本的に、
00:34:46	水色のずらした範囲の右側ではないと思ひましてアスペリティーずらしても入ることはないといところが説明できるのかなと考えております。
00:34:56	以上です。さっきの一般のところ割って、
00:35:02	ごめんなさい地震に伴ううちなみにはの観点でいうと、アスペリティーをずらしてピークは早まることはないといところ、そこは検討する必要がないのかなと考えております。
00:35:12	それはわかりますんでね。
00:35:15	ですよ。何か今やっぱりこう聞くと、何か言いたいことっていうのは、大体わからんでもないんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:35:24	結局、前回の会合でも、うん、こういうことを言いたいんだろうなとか思うんだけどもでも例外もないのかなとか。
00:35:34	いろいろ我々こう考えると、
00:35:36	結構
00:35:38	やっぱり説明がすごく難しい話になってしまっていると。それで前回の会合では、まず重なる派遣はどれですかっていうのを、
00:35:48	整理して欲しい。
00:35:50	重なる位置、
00:35:52	要はどれですか。
00:35:53	これがこうなったら重なるとか、そういう話じゃなくて、考えてる考えるべき小パターンってのはこれだけありますよと。
00:36:01	これここまでそれは7%なり、
00:36:03	6ページの説明というのは結構ちょっと近いかなと思うんですけども、
00:36:08	これだけある中でこれなんですよと。
00:36:10	これはアスペリティをずらしてもこうなんですよ。
00:36:14	で、そそういう順番で説明してもらわないとなかなかですね。
00:36:18	4、
00:36:22	見ている、あれでもこれはどうなんだろうっていうのをこう聞いて、またちょっと、ちょっとこう複雑な、なるほど青木さんはいろいろ考えられてるなと思うけど、
00:36:33	それはここ
00:36:34	なかなか資料にですね、順番乗って我々理解しづらいなっていうところ。
00:36:40	感じてて、か前回の会合の
00:36:44	指摘になってるんですね。なので私が今聞いたのは、これは2羽の話は、青木さんおっしゃる通りこれと行って、遅くなるんだから、別に考えなくていいだろうと。
00:36:56	いう説明なら、それはそれでいいんですけど今度、第一波の時にどう説明するかとか、
00:37:04	まず重なるものがどれなのかっていうところにどう組み込んでいくかっていうのを、
00:37:11	考えてもらわないとなかなかこの前回会合のように、よくわからないなっていうようなところが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:37:18	ありますね。
00:37:29	その辺もあんまり細かい話で私以降指摘してるつもりも全然ないんですけども、とにかく守えっと、私が言いたいのは前回会合のコメントの趣旨っていうのをもう一度お伝えしているっていうところで、
00:37:43	続いて、
00:37:44	10、ペイジーは、これあれですよ詳細パラスタで先ほどもそうなんですけど選んだものに対してやりますよっていう話ですね。
00:38:00	これをやれば、北海道電力として我々が言ってたどこの波源が重なるんですかっていう話ともう1点は、
00:38:10	じゃあどういうパラメータが効いて、そこのパラメータが動けばこう大きくなるかもしれないんで、それは大きく、
00:38:20	大きくなる場合はそれを検討するっていうのを、
00:38:24	ちゃんと網羅できるっていうことで、はい。
00:38:28	Dとあれですね10ページもこれも追加解析をするという話になって、
00:38:35	追加解析が結構多くて、やっぱりこういう追加解析をしないとのこの説明できないっていうことなんですかね前回会合で、
00:38:46	こういったのはこういう傾向があってこうここなんだからこうなんですっていうような、
00:38:51	ちょっと
00:38:52	頭を使って、傾向の観点から説明されてたと思うんですけど、やっぱりそこでの説明は、
00:39:01	傾向だけではなかなか難しいから、
00:39:04	もう言ってみたらこう、もう何か概略詳細やり直しますよっていうような、
00:39:10	そういった
00:39:13	検討に方向を変えたようにも見えるんですけど、これは追加解析をしないと難しいって考えてる。
00:39:26	電力奥寺でございます。逆にこの10ページっていうのは、ほぼ、
00:39:31	変わらないのかなっていう今あるデータで重ねてみるとですね。
00:39:35	そうなってくると55キロがでかいって言っちゃっていいのかわかっていうところなんですけども。
00:39:43	逆に、
00:39:46	影響が小さいっていうことがわかる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:39:48	わかって今、我々がこのデータを重ねて改めて見ると、小さいなんて思うので、
00:39:55	ピークがとらえられているとらえられてないっていう観点からは、
00:40:00	上下でもいいですけど上中下ぐらいやっておくと、きちんと確認できるのかなと、そういう趣旨でございます。以上です。補足あります。
00:40:11	当北海道電力の青木です。前回の会合で示したケースについては断層パターン6を用いた分析結果になっておりまして、
00:40:21	一方前段で整理した結果ってのは断層パターン6は重ならないと、いうところになってきまして、資料全体の流れを説明していくにあたっては、前半で検討したケースを対象に、
00:40:35	実際やってみてその結果を示していくってところが一番わかりやすくなるのかなと考え、こちらの追加検討を考えているところです。
00:40:43	また傾向については基本的にこの今までの会合でられたものっていうのも、結果として持ってましてその傾向から大きく外れることはないというところを考えておりまして、
00:40:54	基本的に詳細パラメータスタディについては、
00:40:57	検証っていう位置付け形で追加パラメータスタディをやるっていうところを考えているところになります。以上です。
00:41:09	まあそういうことですね最後の最後に、ただこれあのパラメータ影響因子を分析これまでできて、上院深さでこれぐらいしか変わりませんよっていう話が例えばあるんだったら、
00:41:20	ここに進む段階で、
00:41:23	本当に何か、
00:41:25	もう、
00:41:26	そう。それ、例えばこの、
00:41:29	第2版のPEEK重なってる7Dと比べてですよ。
00:41:33	7でいいですよ。
00:41:35	7Dと比べて、そのパラメータ影響因子とか、異常にこうもうすぐに差があるんだとかそういう話であれば、何か別に世論やる、やる必要ってどうなのかなとか思っては、
00:41:48	いるんだけれども、何かさっきの大きさのあくまでこれは、
00:41:55	それほど影響しないものなんだというのを、
00:41:58	確認するんですけどっていうような話であればですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:42:01	それが向きの手間、大きなテーマじゃなくてやったら早いんだとかいう話だったら私は、まあまあそういう話をしてもらったらいいかなと思うんですけども。
00:42:12	はい。僕らの方としてはできるだけこれまでの御説明の部品を
00:42:17	使って、
00:42:20	整理の問題なのか。
00:42:23	いややっぱりここで何かいろいろ検討してみないとわかりませんっていう話になったら、じゃあこれまでの会合での説明なんだったんだってちょっと思ったりするんですよ。
00:42:33	その辺もよく考えていただいて、やっぱり示した方が早いとかいうのは、それ止めませんが、よろしくお願いします。
00:42:43	あとだからこれを踏まえて、
00:42:46	この、じゃあ第2版の話をこうやっていくっていうのは大体わかって、
00:42:55	第一波の話って今の部品から何かこう話ができるんですが僕が今これお話を聞いても、
00:43:07	第2話はこの資料にある話であれば11ページの、
00:43:12	この578を検討しますって何かこうこれはこれぐらいの作業量になりそうなんだっていうのはわかるんですけども、
00:43:20	ただ一方重なるのはどれですか、どれをやります、同じようにやりますって言ってますけど、どれぐらいやんなきゃいけないのか。
00:43:28	これ第一波の方はこう、
00:43:31	重なるケースってかなりある。
00:43:34	んじゃないかと思うんですけども、
00:43:37	その辺の何行。
00:43:40	思うもう何か検討を進めている段階なんだと思うんですけどそれはどれぐらい選ばれてるんですか。
00:43:53	北海道電力の青木です。これまで第2は、について資料化しているところでこちらの方が、検討としては第一波と比べてわかりやすいというところで今回先に説明させていただいたところです。
00:44:07	また、谷さんおっしゃる通り第一波の方がもう少し複雑になるのかなというところは我々も考えておまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:44:14	7 ページのところで、ちょっと資料としては第 2 は、について整理した ものですが、こちら第一波に対しても同様な整理で、確認できると思 っておりましてそこをちょっと説明、補足させていただきます。
00:44:27	例えば、左上の断層パターン 1 と 5 の比較を見ていきますと、断層パタ ーン 1 のところが破線で、こちら左上のグラフ書いておりまして、この 結果見てくると思う。
00:44:40	断層パターン 1 については、重なる波源だということではもう特定でき ていると考えております。同じ話で右上断層パターン 6 についても、も う重なってる波源として特定できているのかなと。
00:44:53	また一方左下の断層パターン 3 と 7 の比較を見ていきますと、
00:44:58	断層パターン 3 のところの間葉系の中央付近は重なっているんですけれ ど、ピークになっておりますところはまだ重なってないと、いうところ がありますのでこちらの断層パターン 3 を、
00:45:11	もう少し西に移動させれば、このピークが重なるはげというところで特 定できるのかなと考えております。断層パターン 8 についても同じ話と いうところで、断層パターン 5 から 8。
00:45:22	それぞれ西に移動させたケースっていうところが、重なるケースとして 特定されるのかなというところを考えております。
00:45:30	一方付け区の G の違いっていうところは、先ほどの断層組合、衛藤、
00:45:37	地震津波の 2 は、当間同様な考えでちょっと結果がないので見えていな いところもありますので、こちらは 0 と両方確認。
00:45:46	地震津波の第一波についても確認する必要があるのかなと思っております。
00:45:50	一方もう一つの特徴というところで、東に移動させる場合については、 東に移動させた方が水位が大きくなるっていう特徴もありまして、目 1 杯東に寄せた方が厳しい条件だと。
00:46:03	いうところがありますが、西側の検討というところについては移動させ すぎると、このピンクの範囲からずれてしまうというところがあります ので、そういったコンテそういった観点から、
00:46:14	どこまでずらすかっていうところを今検討しているところであります。
00:46:19	今の状況としては以上です。
00:46:24	は井谷です。
00:46:26	てことをやっぱりこう対象。
00:46:30	多いんですよえと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:46:36	うん。
00:46:37	結構あるんですね。北海道電力青木です。ちょっと抜けてましたので補足させていただきますと、11ページのほうで説明させていただきますと、
00:46:49	地震津波の第2版に関する検討としてはこちら6ケース具体的に挙げているところになります。
00:46:56	一方、第一波の方に関して言いますと、断層パターン、
00:47:01	6っていうものが大%として組み合わせの可能性が出てくれますので、その断層パターンとしては4通りちょっと矩形くの字の違いについては分析、
00:47:11	もう少しした上でちょっと精査するところを考えております。
00:47:15	また西への移動量というところは東と違って重なる量がそれぞれ異なってくるってところですが、
00:47:24	西5キロ目刻みでこれまで検討してまして、
00:47:29	例えば口、
00:47:31	7ページとかで言いますと、
00:47:38	断層パターン1のは形がこのようであって、
00:47:41	こちら東にずらしても西にずらしても PEEK はこの範囲に、
00:47:46	多少の位相のずれであっても入るってところを考慮してましてそういった条件の中で言いますと、
00:47:52	できるだけ波源位置が東にあった方が水位が大きくなるって傾向がありますので、ピークに入る範囲のうち、一番東にあるようなものというところが厳しくなる。
00:48:03	ケースは減というところで特定できるのかなと考えております。そう考えていきますと東への移動量って、
00:48:10	1ケースで十分なのかなと考えておまして、11ページの表でいうと、6通りって書いてたものが、8ケースぐらいになるのかなというようなイメージを今考えているところです。ちょっと今、検討状況としてはこういったところです。以上です。
00:48:30	はい。
00:48:32	結局、移動して移動したで位相が、位相は似たようなものが移動されるだけなので、
00:48:40	平行並行パターンっていうのは、
00:48:44	あれですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:48:46	ここ、一つだけやっとならばいいと、例えば5市とこうと。
00:48:53	同じ関係が、
00:48:56	ということですね、これってあれですかねこの7ページで、
00:49:01	7ページで今回8000円で、一応こう例えば書いてるじゃないですか。これってまた計算し直したんですか。
00:49:11	北海道電力の青木です。この実線と破線については、もう今まで日本海島縁部の審査でやってきた形成になっておりまして、
00:49:19	基本的に断層パターン1から8の基本1っていうものの結果は全部押さえているところなんです。一方東に寄せたりこの中間的な位置にあるケースっていうのは、やってないケースがありますのでそういったところは、
00:49:31	これまでの分析を踏まえて検証した上で、実際の追加解析も結果をもって説明していくっていうところを考えているところなんです以上です。
00:49:43	はい、谷です。
00:49:44	何か最初からこういうのをを出してくれたらよかったのになとこう思いますけど、そういうふうに、
00:49:54	何か状況は考えていること自体は、
00:49:58	わかってきました。ただあれですよ
00:50:02	僕いつもいつもというこれまでの会合でも7にわかりにくい一つの要因として、
00:50:08	パターン7とか言っておきながら、
00:50:11	実はパターンなので、行政たケースなんですよとか、
00:50:15	そういう何かかなりこう、
00:50:18	パターン6と五つパターン6を5キロさせたものが、パターン6として説明されてたり、
00:50:25	ここのイメージを、共通認識を持つっていうのがなかなか難しい話をしたと思うんですよ。だからそれをもちろんこう話そうと思ったら、より複雑な説明をしなきゃいけないとか、
00:50:37	あるんですけども、やっぱりこれは
00:50:40	基本パターンの、
00:50:42	まず、この
00:50:43	1から8のパターンでは重なるものはないんだけど、いやあるのかも、第2はでいうと、あるのかなのか、ただそれを寄せると重なり始めるんですけども、
00:50:55	そういう何か、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:50:57	整理で、この、
00:50:59	1 は、そのあとに言わなきゃいけない、市がこうだから考えなくていいんですにはこうだから考えなくていいですさんはこうだから考えなくていいですとか、
00:51:09	いうのをですね、何かパターンごとにちゃんと整理をしてもらうのが、
00:51:14	大事なことのわかりやすさと言ったら大事なのかなと思いますけど。
00:51:19	ちょっとこれも、
00:51:23	第一波になってくるとアスペリティの位置が絡んできたりとかするっていうのが、
00:51:29	ちょっと私今日聞いてきて、聞いてみてよかったの確認できてよかったなと思いましたけど。
00:51:36	はい。まずこの資料で説明されてること自体は、
00:51:42	私確認したかったことをざっと確認できましたほか、
00:51:47	の方で確認しておきたいことありますか。
00:51:55	はい規制庁佐口ですちょっと 1 個 1 個というか、
00:52:00	教えていただきたいというか、確認なんですけどね。
00:52:04	7 ページで
00:52:08	今のご説明で、
00:52:11	須藤、第 2 は、
00:52:14	重なるものはまずこういうものですよ。それその中でも影響の大きそうなもの。
00:52:21	いろいろパラメータスタディちょっとやっていますね最終的に 11 ページで何ケースでしょうとかってありますけど、
00:52:28	例えば第一波っていうのも考えて、要は、
00:52:33	7 ページの、例えば左上の図を見ると、これ第
00:52:38	8K。
00:52:40	パターン 1、
00:52:42	破線で示されている。
00:52:45	物の第一波って、
00:52:47	実は、
00:52:48	このパターン。
00:52:49	後、
00:52:51	ていうところの第 2 は、のピークおり、もうすでにこの時点で大きいわけ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:52:57	なんですけど、これは例えばパターン5が、
00:53:03	この第2のピークが前にずれると、
00:53:06	このパターン1より大きくなる可能性みたいなものがあるので、
00:53:13	やると。
00:53:14	ということなんですかね。いや、何、何かこう、実は第一波到来にあと、 結局並べてみてまずどういうものが、
00:53:24	ものを重なる可能性があるかっていうのを並べてみたときに、実は、
00:53:30	この断層とT5、
00:53:34	11ページで、こうやられてますけど、
00:53:39	実はこれ計算しなくてもいいのかもしれないのかなと。いやごめんなさい
00:53:44	今単純にそう。
00:53:46	見たんですよね、実はもうパターン1があるので、パターン1の方も、
00:53:52	第1の方が大きいので、もう重なったらこっちの方が大きくなるんじゃないかと、すごく単純に思ってますね。
00:53:58	だから、何かそういう、
00:54:01	何か機械的に第2はのピークが重なる可能性があるのころです。それを、
00:54:08	概略パトカーのちょっと確認でいくつかやりましょうっていう、いう前に、
00:54:15	いや、第一波のピークが重なる可能性っていう、両方見て、これが何かとにかく重なったら影響が大きそうなんだとか、
00:54:27	そういう、
00:54:28	判断をした上で、
00:54:30	何ていうんすかね、パラメータスタディを極力減らすというのが効率的にやるみたいなそういうことは特に考えられてないんですか。
00:54:43	北海道電力の青木です。ちょっと入口のところで、第一波と2はそれぞれ分けて検討するっていうところ、入口からそう仕分けてしまったんですけど、何でそう分けて検討するかっていうところ説明なかったところ、
00:54:56	もありましてそこについては、今後資料を考えるのかなと考えております。その意図としましては3ページで書いてるところにありましたが、
00:55:06	衛藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:55:07	日本海島縁部地震津波の特徴というところで、第一波のピークは波源からの入射はというところで、基本的に市側から来る津波というふうに考えております。
00:55:18	一方第2版のPEEKっていうところは、岩内側からの反射というところで、津波の来る方向がちょっと西と岩永和田と南側っていうところはちょっと方向が違うのかなっていうところで、
00:55:30	まずその分けが大きい理由の一つかなと考えております。
00:55:34	一方、概略パラメータスタディから詳細パラメータスタディに移る段階のところで、江藤先ほどの意見のというところで、は形とは形比べてみたら、こっちの方が明らかに大きいとか、
00:55:48	そういったところで、後段に行く検討っていうところは、もう少し合理化できるのかなというところも考えているところでございます。まず入口として、第1と2はというところは、津波の子が違うからというところで分けているところでして、
00:56:03	その後の検討というところは、ちょっと水位の観点から、合理的に説明できるところは、
00:56:10	そういった説明の方がわかりやすいのかなと考えております。以上です。
00:56:16	はい。規制庁佐口です考え方は一応わかりましたので、なので
00:56:22	ちょっとやってみないとやっぱり何とも言えないなっていうのだったらやるのかもしれないんですけども明らかに最初のところで、
00:56:30	はじけるんだったらもうはじいてしまった方がいいのかなというのも思うんですねあくまでもだからそうしてくれて私がそう言ってるわけじゃないのでそこは御社の方針に従ってやっていただければと思いますけど。
00:56:42	明らかに
00:56:44	合理的にできるんだったらそっちの方がいいかなという、ごめんなさい私の個人的な意見とか教えていたいただきたかった点はそういう拠点なんではい。
00:56:54	北海道電力奥寺です。一般に派の整理はきちんと我々考え方を整理しなきゃいけないと思ってますがそういう観点も含めて、我々も
00:57:05	無駄に追加解析しようとは思っておりませんので、そんな点も含めて整理していきたいと思います。以上です。
00:57:23	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:33	これ地形ケースだとか破損ケースだとかって、これまでと同じのこれで説明するってことなんですか、要するにシリーズっていうのがここ、これに置き換わるところ。
00:57:45	そういう話で評価地点、評価の地形ケースとかは、
00:57:50	これまでと同じロジックそれともこれ大分上流側で話が起きている頃、
00:57:57	全部の地形ケースで全部の評価点でやるってことなんですか。
00:58:04	北海道電力の青木です。前回の会合の資料で、
00:58:10	ちゃんと説明しきれてないところもあるかもしれませんが、基本的には波源と地形モデルっていうところに大きい相関はないというものを考えておりましたして簡単に言うと、
00:58:22	いずれの地形モデルを対象に分析していても、共通の厳しい波源というものを選ぶのかなと考えているところです。そういったところを明示的に説明するっていう観点っていうところから地形モデルについては4地形、
00:58:37	パラで検討して説明していくことが一番わかりやすいのかなというところを考えているところです。また評価地点につきましても、基本的に川下がきて、日本海等にも重なるっていう観点だと、
00:58:50	防波堤ありなしの地形の違いによって重なるだとか、評価地点が違うことで重なる重ならないとかっていうところに大きい影響はないと思っておりますので、そういったところも評価地点を分けた上で、
00:59:02	わかりやすくなるような整理を考えているところです。以上です。
00:59:20	うん。はい、谷です。
00:59:24	多分ですね、検討状況っていうことで、
00:59:28	何か本当に1本、
00:59:31	これが大事と思ってこう入れてるのかもしれないけど、
00:59:36	やっぱり、
00:59:40	何かいろんな前提とかが、簡単にでも説明で入れてくれた方がよかったかなと思いますけどそれは公共面談。
00:59:48	試してみようことであって、今後そうしてくださいっていうのは、
00:59:55	それでとにかく全部の地形ケースについて話ができ、
01:00:01	その評価でもある程度網羅的に説明できるようなやり方をしてるってことでいいんですね。
01:00:10	当北海道電力青木です。そういった理解で大丈夫です。以上です。
01:00:27	はい谷です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:00:32	今日リモートで参加されてる方を、
01:00:36	特にない。調整官は特にいけないですか。
01:00:41	意見というか確認ですけど。
01:00:45	駄目です。
01:00:47	今日一番ちょっと聞きたかったのは、
01:00:49	谷さんの方で質問した、来た。
01:00:54	地震の津波の第一波の方の検討状況だったんですが、
01:00:59	第 200 等、基本的に同じような考え方で、
01:01:04	既存の評価も、の結果も考慮しながら、芝修三氏ちょっとパラメータアクタービルということで、基本的な流れについては同じだということは、
01:01:17	今日お聞きできたかなと決めました。
01:01:20	それで、今後どういうふうに整理するかということに関して、
01:01:27	方針。
01:01:28	結果をうまく、その代表として、
01:01:33	ある程度、
01:01:34	何て言うのかな。
01:01:36	まとまってちゃんと説明していただいた上でその根拠を、
01:01:41	となる検討をこういうふうなことやってますということで、
01:01:45	全体像がちょっとわかるような、検討していただけてその根拠させていることと、最終的な目的として、
01:01:56	選定した波源が、
01:01:59	セキュリティ場面、値として最も大きい影響が大きなもの、ロジックにどう展開するのかというところを、
01:02:09	早めに少し考え方を出示していただけたらなと思いました。
01:02:14	要は私が言いたかったのは、今回やろうとしていることについてはある程度、
01:02:20	第 1、第 2 版の検討ということでは理解したんだけど、それを方針
01:02:27	と結果をいかに何とかまとめて、わかりやすく進めた上で、目的が達成されているかどうかということ、
01:02:37	簡潔に説明していただきたいというご指摘です。私からは以上です。
01:03:08	井谷です。
01:03:11	最後に聞きたいのがこれはもうあれですかね北海道電力の今の考えとしては、今日面談やって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:03:20	次はもう 15 月の中旬に資料出しますっていう、そういう話で考えて、
01:03:27	その間に何かこう、
01:03:31	検討でつまづくじゃないけど何かあればまた面談やるとかそういうことを考えて、今んところだから、
01:03:40	次はヒアリング資料提出ってことでいいんですかね。
01:03:59	ちょっと今、我々考えているところっていうのを 5 月中旬というところは、今日バラバラバラバラしゃべってわかりづらい部分もあったかなと思います。あと、
01:04:10	水位低下側の話なんかも抜け落ちたりするので、一度この全体的な検討方針っていうのを、ヒアリングで説明させていただきたいなど。ここ口頭で補足とか、
01:04:23	ちょっと乱暴なところでわかりづらい部分もあったかなと思うんで、
01:04:27	その上で、
01:04:29	計算結果っていうところ追加解析を実際のところ進めているところもありますので、結果なんかも含めて、
01:04:37	パタッと、今、
01:04:39	方針結果根拠みたいところをまとめて説明していく流れかなと思っておりました。以上です。
01:04:47	谷です。もしそうなら今出してる工程って全然違うんじゃないですか。
01:04:56	3 週間の間に方針の結果を出して会合になるっていうのを考えてるんですか。
01:05:12	いやちょっと私たちの方としては
01:05:16	この間、面談でもうくどくどこう書くかくどくどどというか確認しましたけど、
01:05:23	もう
01:05:24	5 月半ばに、
01:05:25	資料を出して、6 月の頭に会合っていうのを目指してて、そうなるような資料を 5 月半ばに提出しますっていう話で聞いていますし、
01:05:36	これは、
01:05:38	変わるんですか。
01:05:42	もしそうなら次の会合とかでもはっきりと言っていたかないと。
01:05:48	そんなつもりで我々は聞いていないですよ今。
01:05:55	北海道電力の松村です。
01:06:01	ちょっと今

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:06:04	スケジュールが厳しいことは、今現在では認識はしております。
01:06:11	今のところの我々の考え方としては
01:06:15	今日の面談等々も踏まえましてまずは5月中旬に資料を出させていただく、で、
01:06:25	なかなかちょっとその後、6月の、今、
01:06:29	before になってるかな。前半ぐらいの会合をお願いをさせていただいてますけれども、
01:06:34	あそこを何とか目指してやっていきたいということに関しては、変わってございません。
01:06:41	ちょっとその中の過程で、はい。
01:06:45	若干の点がある可能性ってのはあるのかなというふうには考えてございますけども、
01:06:54	ちょっとそんな状況でございます。すいません。
01:07:00	はい確認できましたあくまで今の出してる工程表が正として今のところ考えてると、場合によっては、
01:07:09	を遅らすようなことがあればその時にすぐに連絡いただいたりとか、そういった様子にするといった説明かと思いましたので、
01:07:19	はい。
01:07:25	前々から言ってますように、本当に1回位介護人ももう会合を6月頭にやりたいっていうんだったらもうとにかく、
01:07:37	わかりやすくちゃんとロジック、先ほど調整会しましたけど、ロジックがちゃんとわかりやすいものをですね、資料化していただけたらと思いますのでよろしくお願いします。
01:07:47	今日の面談は以上にしていいですか。
01:07:52	はい。それでは本日の面談を終わりにします。
01:07:56	お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。